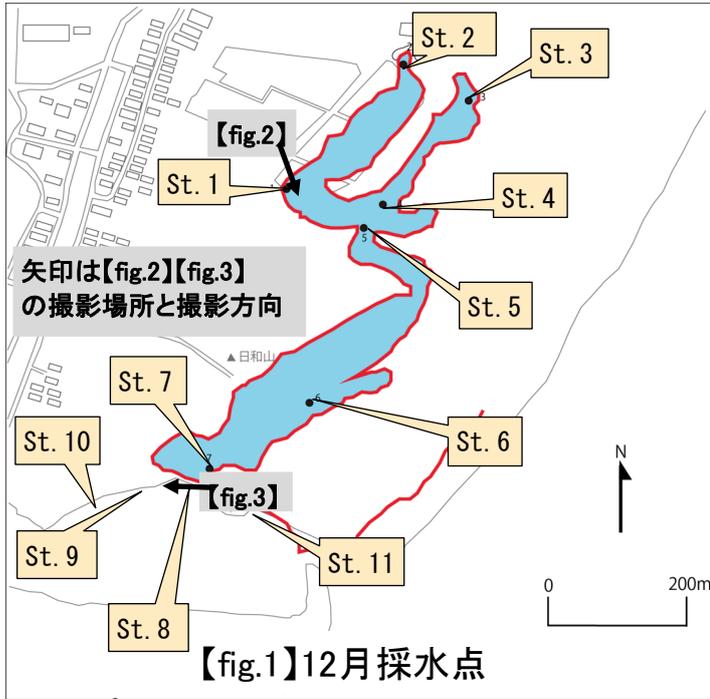


蒲生干潟周辺の塩分濃度⑨



【table1】12月塩分濃度

採水点	12月塩分濃度(%)	3月～11月の 平均塩分濃度(%)	差
St.1	2.5	2.2	+0.4
St.2	2.5	1.4	+1.2
St.3	2.3	1.9	+0.4
St.4	2.6	2.3	+0.3
St.5	2.6	2.3	+0.3
St.6	3.2	2.4	+0.7
St.7	3.2	2.4	+0.8
St.8	—	2.0	—
St.9	—	2.0	—
St.10	—	2.0	—
St.11	—	2.5	—



【fig.2】



【fig.3】

平成28年12月6日【fig.1】に示す採水点St.1～St.7から採水、塩分濃度を測定した。調査を行った時刻は14:20～15:20、潮位95～100cm程度でゆるやかに満ちてくる時間帯にあたる。St.8～St.11は前日から午前中にかけての降水による増水のため採水を行うことができなかった。

塩分濃度は各地点で表層水を3回以上採水・測定し、平均値を12月塩分濃度として【table1】に記載している。12月塩分濃度を3月～11月の平均塩分濃度と比較すると全体的に高く、St.6、St.7では海水程度の濃度を示す。また、低濃度で推移していたSt.2は他の採水点と同程度の濃度まで上昇していた。St.3は水量の減少傾向が続いていたが、今回、水量が増加していた。これらのことから潟湖全体に大規模な海水の流入があったと考えられる。

潟湖に対する水の流出入は、St.1付近の水門から潟湖への流入【fig.2】と、導流堤通水部からの流出【fig.3】が目視により確認できた。【fig.2】、【fig.3】を比較するとSt.1付近の水の透明度が低く赤みを帯びていることが認められる。

(大津秀穂)